

新庁舎建設特別委員会の概要（第13回）

- | | |
|-------|------------------------------|
| 1 日 時 | 第13回 令和6年6月20日（木） 13時～14時27分 |
| 2 場 所 | 第1議会委員会室 |
| 3 出 席 | 全委員 |
| 4 内 容 | 1 整備地の決め方について
2 その他 |

整備地の決め方について、パターン①：A 住民投票、B 市民意向調査、パターン②：A 15歳以上アンケート、B 4,000人市民アンケート、パターン③：市議会（パターン①A～②Bを実施せずに整備地案を決定）のどれが良いか議論した。

1 整備地の決め方について

【委員会で出た主な意見】

〈委員〉住民投票、市民アンケートは予算が高い。全市民参加型のタウンミーティングを市内8地区で40回程度開催してほしい。市職員がファシリテーターを務め、市議会議員も参加できるようなタウンミーティングであれば、予算も低く抑えられるのではないかと。結局は議会が決断しなければいけないということを考えると、住民投票、市民アンケートではなく、パターン③市議会で責任をもって決めるとしたい。

〈委員〉執行部がまず候補地を決めて、それに対して議会がどう判断するかということが良い。議会が判断できない場合は、住民投票、市民アンケートに発展していくことがあるかもしれないが、可能性調査をもとにタウンミーティング等市民の意見を聴きながら執行部で候補地の方向性を決定して、それに関して議会が判断するのが合理的である。

〈委員〉最後は議会で議決して進めていく前提で、市民アンケートも精度が良いということであれば、行ってもよいのでは。4候補地が決まったということで、市民が希望するところに建てればよい。4候補地について、課題や費用について示したうえで5パーセント未満の精度であれば、市民が良いと決めたところにした方が一番市民満足度を得られるのでは。

〈委員〉十分な情報開示をしたうえで、市民アンケートで市民が選び最後は議会の判断でよいのでは。

〈委員〉商工会議所からの声があったが、その部分をどうするのか。前回の候補地には

合理性があった。前期の候補地と今回の4か所と対比をする上でも、前回の候補地を含めるべき。

〈委員〉複数地で複数回いろんな意見を出すということが一番良い。

〈委員〉もっと住民に認識してもらいたい。タウンミーティングも生涯学習1か所ではなく、それぞれの地区に出かけて説明をして、多くの市民の声を聴いて執行部が候補地を決めて、議会に示して議会が決める。市長選挙で結果が出た以上、もう一度駅前を候補地に入れて5か所にするのは難しい。

〈委員〉旧案は候補地としての適格性がないわけではない。様々な専門家の意見を聴いて、総合政策会議でも決めた候補地であり、入れていくべき。

〈委員〉半径500メートル内ということで、プラザちゅうたい、駅北、現庁舎において駅南利用の関連性は。

→半径500メートルの中心に候補地があるが、市有地だけでは賄いきれない部分に関しては、一部共有して使うことや用地の買収も視野に入れている。半径500メートルの市有地ですべてが完了することはほぼない。議会に上程する際には執行部で1つに絞って上程する。

住民投票を行う場合には、条例を定める必要がある。9月議会に諮る必要があり、住民を行うのであればすぐに決定する必要がある。

〈委員〉住民投票をするにしても事前情報が必要。高齢者対象のワークショップがないが、高齢者についての考えは。

→タウンミーティング、おでかけワークショップは年代が高い方が参加しており、市民アンケートでも高い年代の方の回答率が高い。今回は、少なかった声を拾うためにも子育て世代、障がい者、外国人を対象としている。

〈委員〉4つの候補地について説明をしっかりとる必要がある。条例改正については、そんなに急がなくてもよいのでは。

→ロードマップで進め方を共有してきた。ロードマップでも本年度末に整備地決定としている。ペースを守るためには、住民投票をするのであれば、9月議会に上程しなければ間に合わない。住民投票があるのかないのかだけでも決めなければ、ロードマップに沿っていくことができない。

〈委員〉住民投票はするべきではない。議員として執行部と一緒に説明しきるというスタンスは大事であると思う。

〈委員〉整備地が決定して整備計画が出てから上程するのか。

→庁舎の位置を定める条例があり、新しい場所に移転する場合に条例の一部改正がある。各自治体が庁舎を建て替えるときに場所が移転した場合の位置条例の改正をいつどの段階でかけているのかは、ばらばらである。今回は、整備地が決まった段階で、庁舎の位置をしっかりと決めるためにも条例を改正して基本計画を作っていくたい。

〈委員〉住民投票ということになると具体的なものが見えないと市民としてはできない。

→まずは住民投票をやるかやらないかを決める必要がある。内容の議論はまだ難しい。

- <委員>住民投票は必要ない。アンケートと市民に対する説明を重点的にやってほしい。
- <委員>住民投票はいらないと思うが、市民知りたいことは予算のことだと思う。予算については、いつ決まるのか。
- 可能性調査、サウンディング調査、特定団体対象ワークショップ、おでかけワークショップが10月末までに終わる。11月中にお金のことも含め、結果をまとめて情報が出そろったなかでタウンミーティングを行う。対話して意見を頂いて完成させた最新、詳細な情報を見てもらい、住民投票やアンケートを行う。まずは、住民投票なのかアンケートなのかそれ以外なのかを決めてもらう必要がある。
- 55億～60億というのは建物本体の価格であり、4つの候補地に同じ大きさの建物を建てたら建物の価格は同じだが、金額を制限すると複合的な施設はできなくなってしまい、今の段階で制限して本来作りたいものが作れないと本末転倒になってしまう。
- <委員>タウンミーティングの資料を早く整えてもらい、できるだけタウンミーティングを長く行い、そのうえで住民投票をするかを決めては。
- タウンミーティング後に住民投票をやるということになると、ロードマップに沿って進めることはできない。
- <委員>市民アンケートの予算は組んであるのか。
- 予算は組んであるが、市民アンケートなのか住民投票なのか、両方をやらないのかを決めてもらう。
- <委員>市民アンケートを行い、タウンミーティングを行った意見等を集約したらどうか。住民投票の必要はないのでは。
- <委員>住民投票は必要ない。おでかけワークショップやサウンディング調査をしっかりとやったうえで、アンケートをやって候補地を決めて、議会で決めるのが良いのでは。
- <委員>住民投票は突出して費用が高い。外国人の投票も条例を改正する必要があると思う、わざわざハードルの高いことをする必要はない。
- <委員>住民投票、市民アンケートを行わず、市議会で決めるとしたい。人気投票にならないかという危惧がある。市民の意見を参考にして、執行部のここにしたいという気持ちを全面的に出してほしい。
- <委員>執行部と議員が一緒に進めていくことが良い。
- <委員>住民投票は必要ない。前回市民に情報が伝わっていないということで白紙にしている。情報がいきわたるまではロードマップが伸びても仕方ない。しっかり情報を提示してほしい。
- <委員>8地区で説明を行ってほしい。前回計画でも各地区で説明を行っていた。わかっている人も多い、しっかり説明してほしい。
- <委員>最後議会で議決を取る場合、議会が否決されたらどうするのか。
- 住民投票や市民アンケートの1位を市が上程した場合、議会が否決した場合は通らない。どのパターンにしても必ずしも1位を候補地に決めるわけではない。
- <委員>執行部が上程する際の根拠が欲しいのでは。

→市民との対話を大切にしたい。しっかり市民に情報提供し意見を聴いて市の執行部で決定し、報告相談していきたい。

〈委員〉前は、20回市の説明会をしているが、その倍くらいの40回タウンミーティングをやらないと合意形成できないと思う。そのくらいタウンミーティングをやれば市民アンケートはいらぬのでは。

〈委員〉タウンミーティングは多くやってほしいが、職員が説明するなど、なるべく費用をかけないで行ってほしい。

→タウンミーティングについては、議員からの意見を踏まえて総合政策会議に伝える。前回20回の開催はコロナの関係で定員制限をして同じ場所で複数回開催した。方法については、検討したい。

〈委員〉アンケート調査は必要ない。タウンミーティングをしっかりとやることが大事。疑問に思ったことにも答えてもらえる。議員も地域や関係の人にも情報を流していくことが大事。

→議員にも市民に興味を持ってもらえるように協力をお願いしたい。

2 その他

執行部としては、4つの候補地で決定をして市民に公表している。一部の議員から前回の候補地を候補地に加えるようにという意見があるが、執行部では加える理由がそれだけでは難しい。なぜ4つの候補地だけでなく、5つになったのか市民に説明する必要がある。候補地として加えるには、議会の総意として示す必要がある。

【まとめ】

- ・住民投票はしない。(全委員)
- ・タウンミーティングを十分に開催できない場合は、市民アンケートを行った方がいい。(8名)
- ・最終的には議会で決める。(全委員)